

問1 紀元前2000年ごろ、世界でインダス文明が栄えていた時期の日本列島における生活の様子を説明した文として、最も適切なものはどれですか。

(2016年 愛知県公立入試 類似)

1. 土器はまだ作られておらず、ナウマンゾウなどの大型の獲物を追いながら移動して生活していた
2. 金属器が伝来して武器や祭祀の道具として使われ、有力な王を葬るための巨大な前方後円墳が築かれた
3. 薄手で硬い赤褐色の土器を用いて食料を保存し、大規模な水田での稲作を中心とした生活を送っていた
4. 表面に縄の模様がついた厚手の土器を用いて煮炊きを行い、地面を掘り下げて床を作った住居に住んでいた

問2 青森県にある三内丸山遺跡の調査によって明らかになった、縄文時代の人々の生活や社会の様子として最も適切な説明を選びなさい。

(徳島県公立入試 類似)

1. 金属器を用いた農耕が普及し、王の権威を示すために巨大な前方後円墳を築造する社会を形成していた。
2. 大陸から伝わった稲作を基盤とし、集落の周囲に深い堀を巡らせて外敵の侵入を防ぐ生活を送っていた。
3. ナウマンゾウやヘラジカなどの大型動物を狩るため、特定の拠点を持たずに獲物を追って移動を繰り返していた。
4. クリなどの植物を栽培したり、遠方の地域と黒曜石やヒスイを交易したりして、長期間の定住生活を送っていた。

問3 縄文時代の人々の生活や文化について、食料の確保方法とその際に用いられた道具の組み合わせとして最も適切なものを次の中から選んでください。

(2019年 佐賀県公立入試 類似)

1. 本格的な稲作が始まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や、祭祀のための銅鐸が用いられた。
2. 牛馬を利用した耕作や二毛作が広まり、収穫した作物を都市の市場で売買する生活が一般的となった。
3. 狩りや採集で得た食料を煮炊きしたり保存したりするために、縄目などの文様がついた土器が用いられた。
4. 大陸から伝わった青銅器や鉄器を使い、大規模な開墾を行うことで、余剰生産物を蓄えるようになった。

問4 日本の東北地方、現在の青森県に位置する縄文時代を代表する遺跡について、その名称と時代の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

(2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 登呂遺跡 — 弥生時代
2. 吉野ヶ里遺跡 — 弥生時代
3. 三内丸山遺跡 — 縄文時代
4. 三内丸山遺跡 — 弥生時代

問5 山形県の西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」に代表される、縄文時代に作られた土製の人形について、その名称と当時の人々が込めた願いの組み合わせとして正しいものはどれですか。

(2019年 山形県公立入試 類似)

1. 銅鐸 — 稲作の豊作を願う祭りの道具とするため
2. 埴輪 — 亡くなった王の権威を示し、供養するため
3. 勾玉 — 魔除けや身分を示す装飾品とするため
4. 土偶 — 豊かな収穫や安産を祈るため

問6 縄文時代における人々の生活環境の変化と、道具の使用に関する説明として最も適切なものはどれですか。

(2016年 富山県公立入試 類似)

1. 氷河期の影響で大型の獣を追う移動生活が中心となり、獲物を仕留めるために磨製石器が初めて登場した。
2. 大陸から稲作が伝来したことで、収穫した穀物を大量に貯蔵するための薄くて赤褐色の土器が広く普及した。
3. 有力な首長が各地に出現し、集落を守るための環濠や、身分を象徴する豪華な副葬品としての土器が作られた。
4. 気候が温暖になり動植物の食料が豊富になったことで定住が進み、食料の加工や保存のために土器が作られた。

問7 青森県に位置し、大型掘立柱建物跡などの発見によって縄文時代の定住生活の実態を明らかにした、日本最大級の集落跡は何か。

(北海道公立入試 類似)

1. 三内丸山遺跡
2. 吉野ヶ里遺跡
3. 登呂遺跡
4. 岩宿遺跡

問8 日本の北方に位置する地域に古くから居住する先住民族と、その文化に関する記述として最も適切なものを次の中から選びなさい。

(山形県公立入試 類似)

1. 沖縄などの南西諸島を中心に独自の王国を築き、中国や東南アジアとの中継貿易によって繁栄した。
2. 北海道や千島列島などを主な居住範囲とし、シリエトク（知床）などの地名の由来にもなっている独自の言語を持つ。
3. 平安時代以前に東北地方に住み、朝廷の支配拡大に対して抵抗を続けたことで「蝦夷（えみし）」と呼ばれた。
4. 古代に朝鮮半島や中国大陸から移住し、日本列島に稲作や青銅器・鉄器などの進んだ技術を伝えた。

問9 縄文時代に見られる「土偶」と、後の古墳時代に見られる「埴輪」を比較した説明として、正しいものはどれですか。

(2019年 山形県公立入試 類似)

1. 土偶は、豊かな収穫や安産などのまじないのために縄文時代に作られたが、埴輪は古墳の主の供養や魔除けとして古墳時代に作られた。
2. 土偶は、古墳の内部に副葬品として納められたが、埴輪は住居跡から発見されることが多く、日常的な食器として使われた。
3. 土偶は、弥生時代に稲作が伝わった際に祭祀用として広まったが、埴輪は縄文時代に集落の守り神として置かれた。
4. 土偶は、大陸から伝わった金属器の影響を受けて作られたが、埴輪は日本独自の土器文化から発展した石製品である。

問10 縄文時代に作られた、人間をかたどった特徴的な土製品である「土偶」について、この道具が作られた主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。

(2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めたり境界を示したりするために作られた
2. 豊かな収穫や安産などを祈るための、信仰の道具として作られた
3. 大陸から伝わった稲作の技術を広めるための儀式的道具として作られた
4. 食料を保存したり、煮炊きを行ったりするための日常的な容器として作られた

問11 縄文時代の遺跡において、海岸や水辺に近い集落付近で見つかる、食べた後の貝殻や魚の骨、破損した土器などが堆積した場所を何といいますか。当時の人々の「ゴミ捨て場」としての性格を持ち、生活の痕跡（生活跡）を現代に伝えるものを選びなさい。

(2024年 大分県公立入試 類似)

1. 古墳
2. 高床倉庫
3. 貝塚
4. 環濠集落

問12 縄文時代の遺跡からは、女性をかたどったとされる土偶など、当時の精神文化を反映した遺物が多く発見されています。これらの遺物が作られた目的や背景として最も適切な説明を選びなさい。

(2024年 熊本県公立入試 類似)

1. 身分の高い人物が亡くなった際、その墓である古墳に副葬品として納めるために作られた
2. 大陸との交易において、有力者が自分の富や権力を誇示するために作られた
3. 自然の恵みに感謝し、食べ物豊かなことや安産などを祈るために作られた
4. 稲作が普及し、収穫した米を保存するためのまじないとして作られた